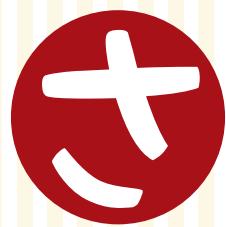


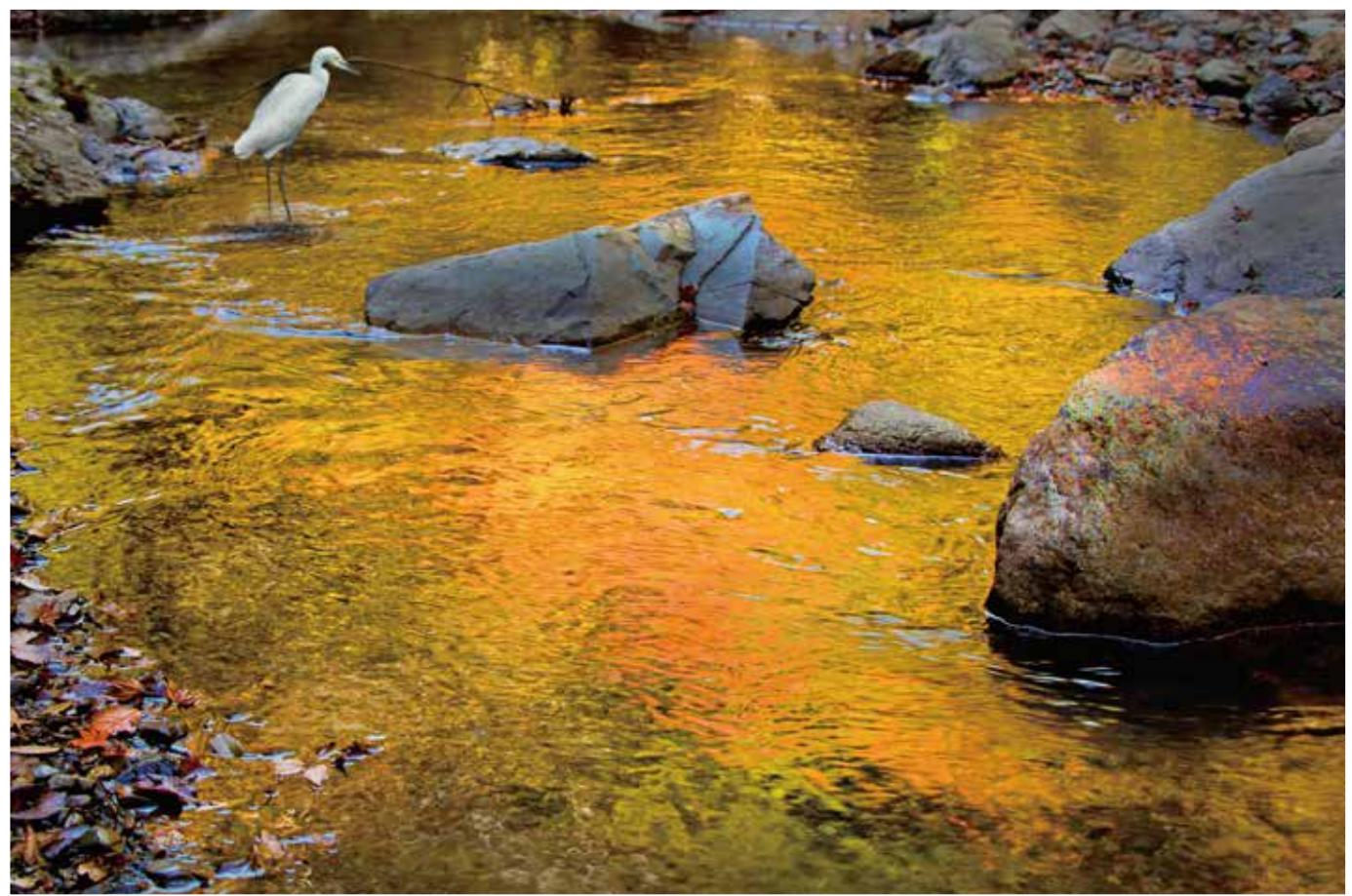


みのお市議会だより

2020.12.10 vol.121



第3回定例会号(9月議会)



琥珀色の世界 〈滝道沿いの箕面川〉 撮影：箕面市美術協会 山本 彰さん（半町在住）

今定例会の焦点

新たな顔ぶれで、箕面を次のステージへ
～選挙後の初議会で、さまざまな提案や指摘を行う～

自由民主党



船瀬 泰孝 藤田 貴支



高橋 竜馬 大脇 典子 中嶋 三四郎



中井 博幸 牧野 芳治



川上 加津子 内海 辰郷



公明党



私たちが新しい市民の代表です!

~8月の市議会議員選挙で当選した23人の議員を紹介します~

市民派クラブ



増田 京子



中西 智子



堀江 優 尾崎 夏樹 山根 ひとみ



大阪維新の会



桃山 悟 神代 繁近 武智 秀生



日本共産党



村川 真実



神田 隆生 名手 宏樹



新たな顔ぶれで、箕面を次のステージへ

～選挙後の初議会で、さまざまな提案や指摘を行う～

今定例会
の焦点

上島新市長の所信を質す

市議会議員選挙後、初めての議会を開催しました。また、議員の選挙と同時に行われた市長選挙で新たに当選された上島市長から所信表明があり、所信表明に対する各政策会派からの代表質問を行いました。

市長が述べられた「箕面池田線と萱野東西線をつなぐ都市計画道路の計画案の取り下げ」や「市立病院経営の最適化と病院の担うべき役割のゼロベースでの追求」、「暑さ指数の在り方について、教育委員会との見直し協議」、「総合水泳・水遊場の整備の一時休止」などについて、常任委員会や代表質問、一

般質問を通じて市長の考えを確認するとともに、今後の市政発展に向け、議会の立場からさまざまな提案や指摘を行いました。

このほか、今定例会では、条例議案や補正予算、前年度決算など計36件を審議し、採決に付された議案は、いずれも提案どおりに議決しました。

今定例会で話題となった案件について、審議の流れに沿って動画をまとめています。

- 暑さ指数の運用見直し
- 都市計画道路計画案の一部取り下げ
- 病院経営の最適化
- 総合水泳・水遊場整備の一時休止



第3回定例会(9/7~10/27)の議案

- 条例案件…2件
- 人事案件…5件
- 議員提出議案…5件 (うち意見書4件)
- 補正予算…2件
- 決算認定…11件
- 報告案件…11件

議案の詳細は、市議会ホームページ「会議情報・結果」をご覧ください。

今定例会で行われた議論の主な内容は、下記のページで紹介しています。

- 4p **代表質問**…新市長の所信表明に対する質問・提言
 8p **常任委員会**…議案審査で行われた質疑
 10p **討論**…議案に対する賛成・反対の表明
 12p **一般質問**…市政全般に関する質問・提言

意見書 議会としての意思をまとめ、国会または関係行政庁などに提出します。

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
- コンビニ交付サービスを活用した罹災証明書の交付を求める意見書
- 地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書
- 防災・減災・国土強靭化対策の継続・拡充を求める意見書

意見書の内容(議案)は、市議会ホームページ「会議情報・結果 (議員から提出された議案)」に掲載しています。

代表質問

～新市長の所信表明を問う～

新市長が就任に際し、今後の市政の運営方針の考え方などを述べた「所信表明」に対し、各政策会派の代表者が質問を行いました。



全ての代表質問を動画で視聴できます

箕面市議会 検索
動画の内容は公式記録ではありません。



所信表明と代表質問

新市長が就任すると、箕面市議会では、新市長の所信表明(市長自らが考える今後の市政の運営方針など)を受け、各政策会派の代表者が、所属する政策会派の理念や考え方方に沿い、代表質問を行います。

また、代表質問のほかにも常任委員会や一般質問において、各議員は、新市長の所信に対し、議員自身の考え方との比較、新たな提案などにより、詳細に内容をチェックします。

(※今回の代表質問とは別に、2月から3月に開催される第1回定例会においても、新年度における市長の「施政及び予算編成方針」に対する代表質問が行われます。)



大阪維新の会

神代 繁近(質問者)
堀江 優、尾崎 夏樹、山根 ひとみ、桃山 悟、武智 秀生



都市経営と行財政改革について

民間企業の経営者でもあった上島市長ならではの発想や、手法を行政運営に導入し、より市民の満足度を高めていくダイナミックな施策を実行されることを期待するが、都市経営の視点に立った市政運営について見解を問う。

答 市役所は単なる地方行政事務の処理組織ではなく、地域の経営主体だという都市経営の視点が肝要。これまで以上に地域経営という観点に重きを置き、充実したサービスを市民に提供し続けられるようさまざまな改革に取り組んでいく。

問 新型コロナウイルス感染症対策事業費の多くを財政調整基金の取り崩しで実施してきた。また、ここ数年は基金を積み立てた額より、取り崩した額が上回っている。住民目線に立った行財政改革を断行するとあるが、考えを問う。

答 住民目線を第一に、民間の資本、ノウハウ、技術を最大限活用できるよう、委託化の可否を検討するとともに、市有財産の有効活用や公共施設の適正配置により生まれた余剰土地の売却や有効活用を進め、財源確保をはかる。

ほかの質問事項

- 新型コロナウイルス感染症の今後の対策、対応
- 魅力ある公園づくり
- 箕面市農業公社と農業政策
- 東部地域の整備
- 都市計画道路案の見直し
- 今後の観光行政の取り組み
- 箕面公園の将来ビジョン
- 北急新駅周辺のまちづくり
- 災害に強いまちづくりと地区防災委員会の位置づけ
- 箕面市立病院の運営
- 中学生海外体験交流事業
- 文化・国際交流事業の振興
- 熱中症対策の見直し

など

日本共産党

村川 真実(質問者)
神田 隆生、名手 宏樹



公園整備と青少年教学の森 野外活動センターの運用について

問 公園など公共施設をお金もうけのツールとしか考えていないうる使い方が是とされることが、大阪で広がっていると感じる。管理が行き届かず、夏休みに足を踏み入れられない公園が多数あった。「芦原公園にカフェ誘致」の前に、市民のみなさんが安心して利用できる公園整備を求める。公園トイレの洋式化も早急に進めるべきではないか。

答 公園は、市民のみなさんが憩い集う場であり、芦原公園の魅力アップをめざして、民間活力の導入により、公園の一角にカフェなどを誘致し、更にそれから市として収益が得られ、公園全体がよりよいものになるよう提案している。洋式トイレを設置している公園数は、以前、池田市を例にされた質問に答弁したとおり、池田市が多い。

問 青少年教学の森野外活動センターについて「民間に事業提案を募集する」とは、営利目的の施設にするということか。

答 生涯学習活動などの利用状況も踏まえつつ、現在の市民ニーズに合った幅広い目的で活用できる施設にしていきたい。

ほかの質問事項

- 府域一元化と地方自治
- 国民健康保険広域化の市独自策の障害者減免制度への影響
- PCR検査体制の充実など、医療体制強化の方策
- コロナ禍での避難所の運営
- 外国語対応やペット同伴、合理的配慮の避難所計画の進捗
- 桜井駅南口改札とトイレ整備
- 船場団地の歩行者デッキ
- 大阪大学箕面キャンパスの活用
- 川合・山之口地区の面整備
- 暑さ指数28℃の見直し
- 少人数学級とコロナ禍での対策
- オンライン授業への支援継続



箕面政友会

内海 辰郷(質問者)
高橋 竜馬、大脇 典子、中嶋 三四郎、川上 加津子



新市立病院建て替えには100人委員会のような市民参加手法を

問 経営状況の改善も建て替えも病院関係者が中心になって奮闘努力してもらわねばならない。議会も徹底した審議を尽くさねばならない。

それ以上に、市民のみなさんに新しい病院は自分たちで造るので、自分たちで支えていくのだと思ってもらえる病院にするためにも、無作為抽出の市民、公募市民、行政、病院職員からなる100人委員会のような市民参加手法を取り入れるべきだと思うが、見解を問う。

答 新病院の機能や在り方を検討するため、今後開催予定の大谷大学医学部や地域医療の専門家、経営的視点を持つ学識経験者など各方面の代表者と公募市民による新市立病院整備審議会において、今、最も課題とされる病院経営の最適化と担うべき役割をゼロベースで議論いただくことを予定しており、100人委員会のように大規模な検討体制ではないが、適切な人数規模で効果的な議論を尽くしていただき、あらゆる運営手法を検討していく。

ほかの質問事項

- 特別職の職務・報酬の認識
- 官民の連携と協力
- デジタル行政の推進
- 青少年教学の森野外活動センター民間事業者提案
- 全市的公園再生計画
- 公園の市民自主管理活動支援制度の総括
- 大阪都構想実現による本市への影響
- 都市計画道路案の見直し
- 熱中症対策
- ノーマライゼーションのまちづくり
- 貧困の連鎖の根絶
- 市民と職員の幸せ

代表質問

市民派クラブ

中西 智子(質問者)
増田 京子



開発優先ではなく、市民の暮らしと緑を守る市政を

問 「水道事業の府域一元化の推進」とあるが、深井戸の地下水など、箕面市の自己水の存続や、水道施設の耐震化や料金の値上げ抑制のために、水道事業の民営化を考えているか。

答 府域一元化とは、府内の料金統一と経営統合によるスケルメリットを生かした効率的な施設改修や運営を想定しており、市単独での民営化は考えていない。自己水の存続はコストや災害時の役割など総合的に勘案し判断する。

問 超高齢・単身化・格差拡大により福祉は重要課題であり、最優先で取り組まれるべき。財源確保のために総合水泳・水遊場整備を見直し、1.5億円の用地埋め立てを含めて凍結すべきではないか。民間や近隣市のプール利用者への補助により、市民の健康増進は推進できる。

答 市民生活を守るのは市の責務だが、全てを市が対応するのには財政的、人的にも不可能。「自助・共助・公助」の連携で生活課題を解決する地域共生社会の実現に取り組む。総合水泳・水遊場整備は、将来の財政負担を勘案し、休止する。

ほかの質問事項

- 民間委託による課題と、公が担うべき分野への見解
- 大阪都構想実現による本市への影響
- 府内27消防本部の統一の手法とメリット・デメリット
- 心のケア対策の相談体制
- 新都市計画道路案を取り下げた後の復活の有無
- 箕面市立病院の将来像
- 気候変動への取り組み姿勢
- 子どもたちが熱中症から自身を守るための教育
- 「川合・山之口」の面整備が畠の緑と引き換えになる問題

など

公明党

田中 真由美(質問者)
楠 政則、岡沢 聰



生活習慣の改善や生活習慣病の予防などに向け、府民に取り組んでいただきたい「10の健康づくり活動」

つながり・安心 持続可能性を高める施策の実現を

問 市立病院の建て替え構想については、ニーズにあった公立病院の役割の再構築が必要。2025年問題・2040年問題を見据えた体制づくりも公立病院の役割ではないか。市長の考える公立病院の役割はどういうものか。

答 市民にとって本来必要な医療、豊能医療圏において不足する医療は何かを再確認し、地域医療の核として将来にわたり担うべき機能を明確にし、それを維持する安定した経営をゼロベースで検討する必要があると考えている。

問 子どもたちの施策の中で触れられていない就学前の子どもたちへの施策では、妊娠期から切れ目のない子育て支援を行い、しっかり寄り添うことが重要と考えるが、就学前の親子支援をどのように考えているか。

答 子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期まで支援を行っている。また、子育て支援センターや乳幼児専用パークの整備なども進めてきた。今後も、就学前の家庭保育の親子などへの子育て支援の推進をはかっていく。

ほかの質問事項

- 職員定数削減の考え方
- 青少年教学の森野外活動センターの今後の提案
- 芦原公園を含めた箕面駅からのPark-PFIの活用
- 桜井駅前広場の駐車場問題と踏切周辺の安全対策
- コロナ禍のがん健診の受診率
- フレイル健診の導入
- 健活10やおおさか健活マイレージアスマイルなどの連携
- 新型コロナウイルス感染症の市の独自支援策の在り方
- 箕面市新型インフルエンザ等対策行動計画の見直し

など

自由民主党

藤田 貴支(質問者)
船瀬 泰孝、中井 博幸、牧野 芳治



熱中症対策の見直し及び都市計画道路案(山麓線)の現状について

問 所信表明によると、暑さ指数28℃を超えた際の小・中学校の屋外活動中止の方針を見直すとのことだが、子どもたちの健康面を最優先するのであれば、熱中症の初期症状を確実に捉える体制づくりが必要と考えるが、見解は。

答 指摘のとおり、熱中症の初期症状を確実に捉えることは非常に重要と考える。見直しにあたり、学識経験者などの専門家、保護者や現場の教職員などの意見を十分に集約し、万全の対策も合わせ教育委員会において検討を進める。

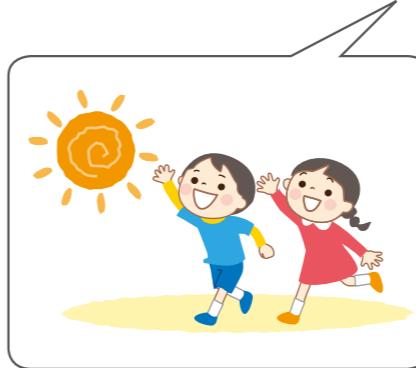
問 川合・山之口地区における区画整理事業による面整備の推進について積極的な支援を行うとのことだが、当該事業において、山麓線を東行きに延伸する都市計画道路案は、大きな意味を持つが、現在の状況は。

答 本年7月の都市計画審議会での答申を得て都市計画道路案を策定した。現在、都市計画決定に向け、府などの関係機関と協議を行っている。早期の都市計画決定をめざし、必要な手続きを進める。

ほかの質問事項

- 身を切る改革の考え方
- 市窓口のワンストップ対応
- 「エキスポ'90 みのお記念の森」が持つポテンシャル
- 都市計画道路案（箕面池田線）の廃止に伴う代替案
- 止々呂美地域における農業の在り方
- 一般会計から市立病院への繰り出し
- 子どもたちの体力向上策と生活習慣の改善
- 桜井駅前広場の立体利用
- 大阪大学箕面キャンパスの跡地利用

など



全ての質疑を動画で視聴できます
 箕面市議会 検索



～このような質疑を行いました～

本会議から各常任委員会に付託された議案などについて、慎重に審査しました。
市に対する主な質疑項目をお知らせします。

文教常任委員会

【審査分野】教育、子育て、生涯学習、人権、文化など
 【委員】委員長／神代繁近 副委員長／田中真由美 大脇典子、山根ひとみ、増田京子

(審査議案／予算1件、決算認定1件)

補正予算令和2年度一般会計

- 小中学校への採点支援システムの導入
 - ・設置予定台数とモデル実施による評価
 - ・システムのメリットや今後の継続性

決算認定令和元年度一般会計

- 外国人相談における専門機関との連携体制の強化
- あいあい園における専門資格者の増員と必要性
- 保育士確保対策の効果と今後の方向性
- おひさまDay拡充と子育て支援センターの拡充
- ひとり親家庭への貸付金返済の状況
- 母子等自立支援事業の必要なかたへの周知方法
- 子ども家庭総合支援員の待遇改善
- 特定不妊治療助成申請期限の課題とその改善
- あすチャレ！School未実施校への対応※
- 支援学級介助員の人材確保の現状と対応
- コロナ禍での学童保育の対応と障がいのある子どもの受け入れ

- スクールソーシャルワーカーの役割と課題
- いじめ等調整委員会の開催日数と学校現場での問題解決へのつながり
- 奨学金貸付事業と給付事業の制度の違いと課題
- 見守りシステム「otta」の検知ポイントの拡大
- 塾代等助成モデル事業の効果と今後の継続
- スカイアリーナ前エレベーター改修の施工見通しなど



※バラアスリートとの交流を通じ、障がいについて理解を深める体験型出前授業。

民生常任委員会

【審査分野】福祉、住民登録、ごみ処理、病院など
 【委員】委員長／堀江優 副委員長／村川真実 高橋竜馬、中西智子、船瀬泰孝、中嶋三四郎

(審査議案／予算1件、決算認定6件)

補正予算令和2年度一般会計

- 障害者グループホーム補助金の見直し
- 特別養護老人ホームの公募状況
- 市立病院への新型コロナウイルス感染症の影響

決算認定令和元年度一般会計

- 証明発行事務事業や総合窓口業務の委託状況
- 地域一括交付金モデル事業の課題と継続の検討
- 福祉輸送利用促進モデル事業の検証結果の活用と一般利用促進に向けた取り組み
- 障害者優先調達推進に向けた方策
- 障害者就労支援事業における社会的雇用制度を継続する上で課題と経済的な自立促進施策の今後
- いきいき安心ネットワーク事業の位置情報提供サービス及び緊急通報機器設置の補助の状況
- 指定ごみ袋40L導入にかかる福祉的観点に立った製袋事業の在り方
- ゆずる完熟堆肥を活用した循環型社会の構築※

決算認定令和元年度特別会計国民健康保険事業費

- 加入者数、分納世帯数及び短期・資格証の発行状況

決算認定令和元年度特別会計介護保険事業費

- 箕面シニア塾のコース別応募状況と課題

決算認定令和元年度病院事業会計

- 新市立病院整備に向けた経営改革



※衛生・健康管理が徹底されている学校給食の野菜くずが主原料で、市販の堆肥に比べ窒素が約3倍、リン酸・カリが約2倍含まれています。

建設水道常任委員会

【審査分野】都市計画、道路、公園、消防、水道、競艇など
 【委員】委員長／楠政則 副委員長／神田隆生 武智秀生、牧野芳治、川上加津子

(審査議案／予算1件、決算認定4件)

補正予算令和2年度一般会計

- 水防整備事業の内容
 - ・7月8日の豪雨災害の状況と対策
 - ・水防整備指針との関係

決算認定令和元年度一般会計

- 鳥獣被害の状況と対策の内容
- 大阪府北部地震により災害危険区域に指定された住宅の移転支援の状況
- 公共施設における消火器の更新時期の管理と高圧水銀ランプのLED化の進捗
- 食育重点項目の推進
- 本市でのナラ枯れの状況
- 街路樹の刈り込み要望のデータ化と予防的対応
- 自転車走行レーンの利用状況と整備
- 直営で職員が行う公共施設の維持管理の状況
- 信号交差点の歩道四隅へのガードパイプ設置状況
- 道路の危険・問題箇所の補修、改修の状況



※見づらくなっている路面標示。

総務常任委員会

【審査分野】防災、税、情報システム、観光、北急延伸など
 【委員】委員長／内海辰郷 副委員長／名手宏樹 尾崎夏樹、桃山悟、藤田貴支、岡沢聰

(審査議案／条例2件、予算2件、決算認定3件)

条例改正 箕面市特別職の職員の給与に関する条例及び箕面市特別職の職員の退職手当に関する条例

- 市長給与の2割、退職金の全額削減と期末手当を満額とする理由、ほかの特別職、市職員への影響

補正予算令和2年度一般会計

- 北大阪急行線延伸工事の延期関連
 - ・区分地上権設定に向けた住民同意の状況
 - ・撤去が必要とされる土留め壁の状況
 - ・横浜のシールドマシン事故の把握と対策
 - ・新御堂筋南行き1車線規制の理由と渋滞対策



※昨年夏の参議院議員選挙から、ポストカードとして使用できる投票済証を、投票後に配布しています。

一般質問

～市政のここが聞きたい～

市民のみなさんの暮らしをより良いものにするため、市に対して質問を行いました。主な内容をお知らせします。

全ての一般質問を動画で視聴できます

箕面市議会

検索

動画の内容は公式記録ではありません。



暑さ指数と都市計画道路の決定について



大阪維新の会
桃山 悟

問 暑さ指数28℃の制限で教育現場は混乱し、議会も改善を求めてきた。新市長になり、暑さ指数見直しに向けて、教育委員会の見解は。

答 学識経験者、スポーツ指導者、保護者などさまざまなお意見を伺いながら、現在の基準の見直しが可能となるよう対応方針を見極めていく。

問 府道茨木能勢線の渋滞や歩道未整備を改善するため、市が府道山麓線を府道茨木箕面丘陵線まで整備を行うことについて、市の見解は。

答 混雑などの課題解決に、市道小野原中村線と府道茨木箕面丘陵線間の新規路線が最適と判断し、市発意の計画として府と協議している。



スケートボードパークの整備に向けて

大阪維新の会
武智 秀生



問 将来的に子どもたちが安心安全に楽しめるスケートボードパークを市内のどこかに設置してほしい。箕面新稻の森が最適と考えるが、まずは簡易な形態での実証実験を既存施設で行うことを提言する。子どもたちも周辺住民に気兼ねなく楽しめ、保護者も安心できる場所と考えるが、見解を問う。

答 スケートボード施設に関する市民ニーズの把握のため、11月1日からスカイアリーナ中庭の未活用スペースをスケートボード利用者に無料開放し、利用者へのアンケートを実施するなど、広く市民、特に子どもたちのニーズを把握し、将来にわたり長く親しまれる施設の在り方を検討していく。



スカイアリーナでの無料開放

総合水泳・水遊場整備事業と船場のまちづくりについて

大阪維新の会
山根 ひとみ



問 総合水泳・水遊場整備事業のため、多額の資金を投入して事業用地を購入したにも関わらず、事業が休止になった経緯を問う。

答 コロナ禍による税収減で、今後の財政見通しが厳しいことから、全ての事業をゼロベースで見直し、当事業は利用者需要予測が立てにくいくことと相当な負担が見込まれることから休止とした。

問 医療機関と住居が一体となった21世紀型医療モールなどにより、船場地区の全ての世代が安心して暮らせるまちづくりをすすめ、2025大阪・関西万博のサテライト会場となることを望むが、市の見解を問う。

答 市立病院の移転と合わせ国や府の各種支援制度を活用し、同地区にヘルスケア拠点を創出するなど、まちづくりの取り組みを着実に進め、万博のサテライト会場への参加も積極的に検討していく。

ひとり親家庭の更なる支援策などについて

公明党
楠 政則



問 ①支援を必要とするひとり親家庭などへの支援を着実に届けるため、近隣自治体の好事例をもとに、更なる取り組みを行っては。②北大阪急行線延伸を軸としたまちづくりが進む中、今後の公共施設の維持・新築・増改築を含めた、新たなまちづくりの計画、見える化が必要と考えるが、市の見解は。

答 ①総合窓口でのケースに応じた情報提供や地域の民間団体との連携でひとり親家庭を多面的・重層的に支援できる体制の構築に努める。②長期的展望と公共施設等総合管理計画に基づく複合化・集約化、廃止などで施設保有量の適正化、長寿命化に努め、市民に公表し見える化にも対応していく。



障がい者の環境と生活について

箕面政友会
大脇 典子



問 ①支援学級に在籍する子どもたちや保護者に対して、支援教育介助員や障がい児を受け入れる学級担任が個々の障がいに寄り添った介助の仕方などを学ぶ研修の体制はできているのか。②地域で生活していく中で、障がいのある・なしに関わらず、誰もが一緒に集えるような居場所づくりを今後の共生社会における重要な施策として、市に具体的な構想はあるのか、見解を問う。

答 ①介助員には実践的な支援スキルを習得するための研修を、教員には支援教育への理解を深め、より実践的な指導力を高めるため支援教育研修などを実施するとともに、日々、保護者と学校で情報共有を行っている。②「年齢や属性を問わない、誰もが気軽に集える居場所づくり」はこれからの地域づくりに必要と考えており、今後、その可能性について検討していく。

暑さ指数と都市計画道路の決定について



大阪維新の会
桃山 悟

問 暑さ指数28℃の制限で教育現場は混乱し、議会も改善を求めてきた。新市長になり、暑さ指数見直しに向けて、教育委員会の見解は。

答 学識経験者、スポーツ指導者、保護者などさまざまなお意見を伺いながら、現在の基準の見直しが可能となるよう対応方針を見極めていく。

問 府道茨木能勢線の渋滞や歩道未整備を改善するため、市が府道山麓線を府道茨木箕面丘陵線まで整備を行うことについて、市の見解は。

答 混雑などの課題解決に、市道小野原中村線と府道茨木箕面丘陵線間の新規路線が最適と判断し、市発意の計画として府と協議している。



箕面子どもステップアップ調査について

箕面政友会
高橋 竜馬



問 本調査の各児童、家庭への活用についての取り組みをもとに、面談機会の設定など今後の更なる調査結果の有効活用について問う。

答 返却する個票は教員が強調する部分をマーカーで色づけし、課題などを理解できる内容になっていく。面談は必要に応じて個別に対応している。

問 本調査の今後の方針について、一人一台のタブレットの有効活用、また、大阪府内全域での実施拡大への取り組みについて問う。

答 タブレット学習と本調査をリンクさせ、効果的な学習を検証し、学習意欲や学力向上をはかる。また、府には府内統一での本調査の実施を要望している。



コロナ禍の影響と対策を問う！

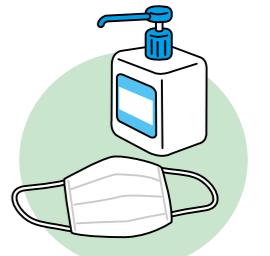
箕面政友会
中嶋 三四郎



問 コロナ禍での働く人への支援として、医療従事者と同様の負担があった福祉職や保育職へ、慰労手当の検討およびマスクなどの必要物資提供を行うべきと考えるが、市の見解は。

他に生活困窮者支援について、相談支援体制、自殺対策などの充実について

答 国慰労金の申請を福祉職に促しているが、保育職は対象外。市独自の支給予定はない。必要物資は、緊急的に備蓄品及び民間からの寄贈品のマスクを福祉施設に4,200枚、保育施設に9,200枚提供したほか、国の補正予算などを活用し支援している。今後も衛生用品などが不足しないよう支援する。



一般質問

コロナ禍における防災対策の強化に向けて

自由民主党
船瀬 泰孝



問 新型コロナウイルス感染症に対応した防災対策を構築するのは必須であり、感染拡大が落ち着いているうちに、万全の備えに徹し、有事に備えておく必要があると考えるが、避難所での三密対策やクラスターが発生したときの対応について、市の見解を問う。

答 避難所運営マニュアルの新型コロナウイルス感染症対策版を策定し、避難者の健康状態に応じたスペースへの誘導など感染防止対策を重視した避難所運営や、保健所が濃厚接触者を追跡できるよう避難者の名簿作成などをを行い、クラスター発生時には保健所の助言に従い、消毒など感染対策を行う。



市の計画的なまちづくりについて

市民派クラブ
増田 京子



問 現在の市は、1996年策定の都市計画マスタープランとは大きく変化している。一方、市全体に影響を与える100年たっても大丈夫という道路計画網を策定中。市全体構想である将来を見据えたマスタープランに見直す必要があるのではないか。同じく、最上位計画の第五次総合計画は今年度が最終年度となる。市民と検証し、次期総合計画を策定する必要があるのではないか。

答 都市計画マスタープランでは、部分的に市街化調整区域の土地利用の在り方を定め、加えて立地適正化計画を策定していることから直ちに見直す必要はないと考えている。第五次総合計画の検証方法は未定。次期計画を策定するか否かは、ビッグプロジェクト、コロナ禍による社会、経済活動や人々の生活様式、技術の変化で、生活スタイルやニーズがどう変わるのかを見極め、検討していく。

暑さ指数規制の見直し 今井用水の堰の改善

大阪維新の会
尾崎 夏樹



問 暑さ指数規制の見直しに際しては、豊田市や茨木市、池田市など、この間、創意工夫により夏場の屋外での活動の確保と、熱中症の対策を両立させてきた取り組み事例などを参考にされたい。

答 豊田市の学校ごとの熱中症事故防止体制の確立や、茨木市の熱中症予防と体調の維持管理に効果のある備品、池田市の安全に屋外活動をする機会ができる限り確保する取り組みなどを参考にしていく。

問 箕面川の今井水路の取水堰付近の土壌にごみが集積し、景観を害するなどの問題が生じることから、景観回復と環境保全のため取水堰の改善工事を池田市に働きかけていただきたい。

答 土壌は、本年夏の渴水時期に今井用水の水位回復のため、池田市の職員が積み上げたと聞いており、本市としても、周辺の住環境保全の観点から、取水堰の今後の改善を池田市に働きかけていく。

子ども教育環境の充実について

大阪維新の会
堀江 優



問 進学を控える子どもたちにとって、出席日数は進学を左右する大きな要素となりえるが、通常授業にオンライン出席した際は、児童が通常授業に出席した場合と同じ扱いになるのか、見解を問う。

答 文部科学省からの通知に沿い、通常授業にオンラインで参加した児童は出席扱いとしている。

問 児童が学習内容を確実に身に付けた上で、個に応じた指導の充実をはかっていくことが、結果として更なる学力の底上げや向上につながると考えるが、本市の習熟度別指導についての見解を問う。

答 習熟度別少人数指導は、児童生徒は発言や質問がしやすく、教員は指導のレベルを児童生徒に合わせやすく、分かりやすい授業を展開できるなど双方のメリットが多いと考えている。現在検証を進めている中でも、小・中学校いずれも効果が出ており、今後も習熟度別少人数指導を実施していく。

障害者グループホーム整備について課題を問う

市民派クラブ
中西 智子



問 障害者の市民が自分の意思で自立して地域で暮らすために、高齢化や親亡き後も考慮すると、支援を受けながら生活するグループホームの需要は今後も増すと考えられる。市はグループホームの家賃補助の見直しを検討しているが、①グループホーム整備は市の障害福祉計画の最重点施策に掲げられている。今年度の市の整備目標と進捗を問う。②整備に向けた課題について市の認識を問う。

答 ①本計画では、地域生活の支援と地域共生社会の実現に向けた取り組みを重点施策に掲げているが、年度ごとの具体的な設置目標数は設定しておらず、本年度新たに開設・増設されたグループホームは1カ所である。②消防法令によるスプリンクラーの設置義務、世話人及び支援者などの人材不足、賃貸物件のオーナーや地域住民の理解を得ること、この3点が課題と考えている。

地域防災について

箕面政友会
川上 加津子



問 ①災害時に緊急情報を放送するタッキー816を市民が実際に聞く取り組みとして、コロナ禍で人を集めづらい来年1月17日の全市一斉総合防災訓練の際、防災において、自治会に理解、協力を求めていることは多い。市民部市民サービス政策室の中の自治会係ではなく、市民安全政策室と同じ総務部に「自治会担当室」を設け、連携強化をはかってはどうか。②多くの市民を集める防災イベントが難しい中、ご提案の内容は、各家庭や少人数の活動を促しつつ全市的な一体感が感じられる可能性があり、前向きに検討する。③自治会係は、適宜、他部局と連携や情報交換を行い、地域の課題解決に努めており、現時点での組織変更は考えていないが、今後も自治会の活性化のため、庁内での連携をお一層深め、課題の解決に取り組んでいく。

市の計画的なまちづくりについて

市民派クラブ
増田 京子



問 現在の市は、1996年策定の都市計画マスタープランとは大きく変化している。一方、市全体に影響を与える100年たっても大丈夫という道路計画網を策定中。市全体構想である将来を見据えたマスタープランに見直す必要があるのではないか。同じく、最上位計画の第五次総合計画は今年度が最終年度となる。市民と検証し、次期総合計画を策定する必要があるのではないか。

答 都市計画マスタープランでは、部分的に市街化調整区域の土地利用の在り方を定め、加えて立地適正化計画を策定していることから直ちに見直す必要はないと考えている。第五次総合計画の検証方法は未定。次期計画を策定するか否かは、ビッグプロジェクト、コロナ禍による社会、経済活動や人々の生活様式、技術の変化で、生活スタイルやニーズがどう変わるのかを見極め、検討していく。

子ども教育環境の充実について

大阪維新の会
堀江 優



問 進学を控える子どもたちにとって、出席日数は進学を左右する大きな要素となりえるが、通常授業にオンライン出席した際は、児童が通常授業に出席した場合と同じ扱いになるのか、見解を問う。

答 文部科学省からの通知に沿い、通常授業にオンラインで参加した児童は出席扱いとしている。

問 児童が学習内容を確実に身に付けた上で、個に応じた指導の充実をはかっていくことが、結果として更なる学力の底上げや向上につながると考えるが、本市の習熟度別指導についての見解を問う。

答 習熟度別少人数指導は、児童生徒は発言や質問がしやすく、教員は指導のレベルを児童生徒に合わせやすく、分かりやすい授業を展開できるなど双方のメリットが多いと考えている。現在検証を進めている中でも、小・中学校いずれも効果が出しており、今後も習熟度別少人数指導を実施していく。

「暑さ指数28°C以上で運動中止」の見直し

日本共産党
名手 宏樹



問 ①環境省の熱中症予防運動指針では、原則運動が中止になるのは、暑さ指数31°C以上。府内の自治体のように、環境省の方針に基づく指針へと見直すべきではないか。②「28°C以上での一律中止」では、夏場の子どもの活動は保障されない。活動を保障しながら暑さ対策を進めるために、小・中学校や保育園・幼稚園の実情に合わせた暑さ対策ができるようサポートすべきではないか。

答 ①現在の市の対応方針は、環境省の熱中症予防運動指針をもとに定めており、方針の見直しについては、今後専門家などから集約する意見も含め検討していく。②実情に合わせた暑さ対策のため、活動開始前の確認フローチャートの作成などで、熱中症の初期症状を確実に見逃さないことが重要であり、それが策定できれば、発達段階や各種活動に応じたサポートが可能になるとを考えている。



箕面市議会の役員を紹介します



議長
中井 博幸



副議長
武智 秀生

現在、コロナ禍により、日常生活や経済活動に深刻な影響が起きており、本市においても北大阪急行線の延伸や周辺のまちづくり、市立病院の建て替えなど、多岐にわたる課題があります。このような状況の下で、市民の代表として、今まで以上に安心・安全のまちづくりに取り組んでまいります。

また、新たな顔ぶれとなった市議会は、若い世代の感覚と経験豊富なベテランの見識を合わせることで相乗効果を生み、市政をより多角的な視点から支え、その発展と円滑な議会運営をめざして、力の限り邁進してまいります。



vol. 121



防災、税、情報システム、
観光、北急延伸など

◎内海辰郷
尾崎夏樹
藤田貴支

○名手宏樹
桃山 悟
岡沢 聰

○神代繁近
大脇典子
増田京子

○田中真由美
山根ひとみ

福祉、住民登録、
ごみ処理、病院など

○堀江 優
高橋竜馬
船瀬泰孝

○村川真実
中西智子
中嶋三四郎

(○委員長 ○副委員長)

都市計画、道路、公園、
消防、水道、競艇など

○楠 政則
神田隆生
武智秀生
川上加津子

○神田芳治



交通対策
特別委員会

北急延伸やオレンジゆずるバスなど

◎岡沢 聰
神田隆生
高橋竜馬
山根ひとみ
船瀬泰孝
藤田貴支

○尾崎夏樹
名手宏樹
大脇典子
中西智子
桃山 悟
藤田貴支



議会運営
委員会

議会の運営、議長の諮詢
議会に関する条例・規則など

◎川上加津子
村川真実
増田京子
桃山 悅



広報
委員会

議会の広報活動
(議会だより・ホームページの編集など)

○武智秀生
村川真実
中西智子
藤田貴支

■議会選出の委員・議員

【監査委員】岡沢 聰

【農業委員会】

神代繁近、中井博幸、
岡沢 聰、川上加津子

【大阪広域水道企業団議会】

神田隆生

【大阪府後期高齢者医療
広域連合議会】田中真由美

令和2年(2020年)12月10日発行
みのお市議会だより

11/30～12/22 開催予定

11 November						10時開会	2020
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	
29	30						本会議①

		1	2	3	4	5
			常任委員会		常任委員会	
6	7	8	9	10	11	12
			常任委員会			
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		
①議案説明ほか		②討論・採決、一般質問		③一般質問 (進行状況により変更となる場合があります)		

①議案説明ほか ②討論・採決、一般質問 ③一般質問
(進行状況により変更となる場合があります)

動画でCheck!

タッキー816でCheck!

議会の模様を動画で視聴できます。
動画の内容は公式記録ではありません。

ライブ中継・録画配信

箕面市議会 検索

タッキー816 検索

**点字と声の
議会だより**

点字と声(テープ版、CD版、
デイジー版)による議会だよりも発行しています。視覚障害のあるかたで希望される
かたは、議会事務局へご連絡ください。

**箕面市
統一キャンペーン**

住宅用火災警報器の
交換のめやすは10年です。

→ 次号は、令和3年2月15日発行予定です

編集・発行／箕面市議会広報委員会
〒562-0003 大阪府箕面市西小路4-6-1
TEL (072) 724-6705 / FAX (072) 724-1568